

平成 17 年 2 月 25 日
株式会社名古屋銀行

「新産業創造ファンド」への出資について

名古屋銀行（頭取 加藤千磨）は、リレーションシップバンキングの機能強化施策の一環として、地元ベンチャーキャピタルのニック株式会社（本社：名古屋市千種区、代表取締役社長：西川輝男）が運営者となり、平成 17 年 2 月 28 日に設立する「新産業創造ファンド」に出資を行いますのでお知らせします。

なお、ベンチャーファンドの設立に際して、愛知県内の金融機関が単独で独立系民間ベンチャーキャピタルと連携するのは初めての事です。今後も当行ではベンチャー企業を積極的に支援してまいります。

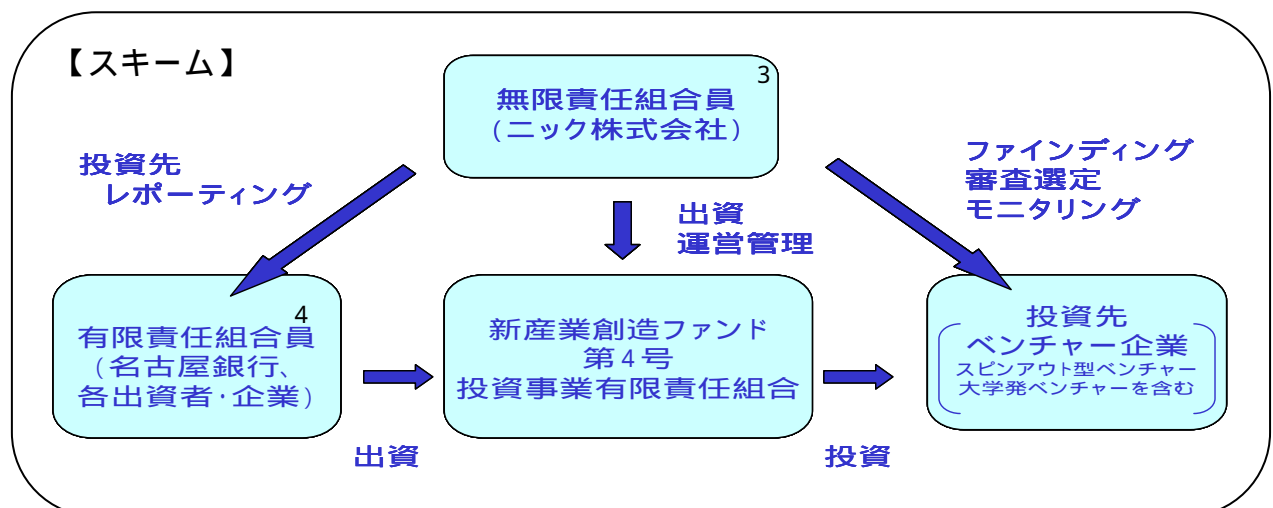
記

1. ファンド理念

当ベンチャーファンドの理念は新産業の創造です。企業の持つシーズ、大学発のシーズを積極的に企業化するなど、あらゆる角度から新産業の創造に取り組みます。ニック株式会社の特徴である中部地区を中心とする事業会社のネットワークおよび現役社長陣の目利きによる投資、組織的な支援活動に、当行の持つ機能をさらに加えることにより、投資事業会社の発展・上場を総合的にサポートし、東海地区が持つポテンシャルを活性化します。

2. ファンド概要およびスキーム

名 称	新産業創造ファンド第四号投資事業有限責任組合（ 1 ）
準拠法	投資事業有限責任組合契約に関する法律（ 2 ）
無限責任組合員	ニック株式会社（ファンド運営者）
出資金総額	5 億 6 千万円（名古屋銀行 1 億円、事業会社 4 億 6 千万円）
投資対象	技術、製品、サービスやビジネスモデル等に革新性を有する未上場の中小企業
存続期間	最長約 9 年 3 ヶ月



3. 出資者

名古屋銀行および中部地区を中心とする事業会社 10 社

4. ニック株式会社 (ホームページ <http://www.nicrt.jp/>)

(1) 所在地：名古屋市千種区千種 3 25 19

(2) 資本金：3 億 5 千万円

(3) 株 主：(株)アタックス、井元明正(井元産業(株))、(株)エイデン、(株)エフ・エム・シー・キャピタル、岡谷鋼機(株)、北川工業(株)、(株)シロキ、タキヒヨー(株)、(株)中部日本倶楽部会館、(株)槌屋、豊島(株)、名古屋トヨペット(株)、西川印刷(株)、日本高圧電気(株)、日本メナード化粧品(株)(五十音順)

(用語解説)

- 1 「投資事業有限責任組合」：準拠法で定められた「投資事業有限責任組合契約」によって成立する、無限責任組合員および有限責任組合員からなる組合。
- 2 「投資事業有限責任組合契約に関する法律(平成 10 年法律第 90 号)」：ベンチャー企業など事業者に対し投資を行うための組合契約であって、出資額までしか責任を負わない有限責任組合員と、無限責任組合員とを別にする旨定めた民法の特則。
- 3 「無限責任組合員」：組合業務を執行し、組合債務を弁済する責任を無限で負う組合員。
- 4 「有限責任組合員」：出資の価額を限度として、組合債務を弁済する責任を負う組合員。

以 上